



# 消費者に喜ばれる 様々な種類の野菜づくり

露地野菜経営 田主丸町 石崎 順子 さん (37歳)

## 多品目の露地野菜を栽培

両親と共に約3ヘクタールの農地で、米・麦・露地野菜の生産を行っている石崎順子さん。以前、野菜種子の販売に携わっていた夫の影響で、白菜、キャベツ、大根、ブロッコリー、ほうれん草、かぼちゃなど、年間を通して多くの品目の野菜を生産しています。

小さな頃から、土を触ったり、体を動かしたりと、農業の手伝いをするのが好きだったという順子さん。現在は父の指導の下で生産技術を磨きながら、野菜作りに精を出しています。

## 子育てと農業の両立

順子さんは、小学5年生と小学2年生の二人の男の子のお母さん。「自分で時間を調整できるところが農業の魅力です。」と語る順子さんは、子育てと農業を上手に両立しています。

子どもたちに自分の作った新鮮な野菜を食べてもらえることや、子どもたちが畑で、自然との触れ合いを体験できることなど、子育てをする上でも、農業の良さを感じています。

忙しいことを辛いと感じないと笑顔で話す順子さんからは、子育てと農業の両方を楽しんでいる様子が伺えます。

## 美味しい野菜を届けたい

生産した米・麦はJ

Aへ、野菜は主に直売所に出荷しています。消費者の「美味しい」という声が励みになって、「これからも様々な種類の美味しい野菜を消費者に届けたい。」と話す順子さん。現在は両親の協力があつての農業経営ですが、子どもたちが成長し農業に専念できる近い将来、自分が全て引き継ぎたいと、日々努力しています。

